



## ケアマネジメント群馬フォーラムXI、 絶対楽しいと思います！ 伊香保で会いましょう！！

大会長 内田病院 理事長 田中 志子

時代は大きく変わり、高齢化や認知症の割合や独居世帯、老々世帯の増加、多彩な家庭背景、また高齢者は何らかの疾患を抱えているので、慢性期医療という側面も重要になります。慢性期医療の重要さは命の長さではなく、命の質に優先順位を置いています。ケアマネジャーは「生活の質」とともに「命の質」をマネジメントしていかなければならない時代となりました。まさに「ケアプランは人生の時間割」だと思いませんか？その時間割に従って生活が組み立てられるのですからその人が望まない時間割になんかにしてはいけません。その時間割と一緒に考えることを託された重みを考えてほしい。そしてその時間割から外れることができない「ご本人」の人生のストーリーを作っているということに気づいてほしい、そんな思いを込めたフォーラムにしたいと思います。

今回は、日本慢性期医療協会の花形、富家隆樹先生を講師に「人生の時間割を作る人々へのエール」頂きます！楽しみ！



この事業は赤い羽根共同募金の助成を受けて実施します。

# アンケート結果報告

会報83号で実施した【アンケートのお願い】に貴重なご意見  
ありがとうございました。

今回はいただいた意見を要約し、掲載させていただきました。

## (1) 多種多様な介護サービスについてどう思われますか？

- ・多種多様なサービスが選べるのはよいことだと思います。
- ・多彩なサービスがあるので今まで以上にケアマネのモニタリングが重要になっていると感じます。
- ・ご利用者に説明する為、ケアマネには各事業所のサービス内容についての知識・情報が必要だと感じています。
- ・多種多様なサービスは増加していますが、医療ニーズに応えられるサービスがまだ少ないので、今後は医療ニーズ対応型のサービスの増加を期待します。
- ・サービスが増加し、よく分からないサービスもあるので、もう少しコンパクトにした方がよいと思います。
- ・ご利用者や家族ではなく、居住系施設側がサービスを決めてしまうことがあります。ケアマネの必要性和役割について考えさせられます。

## (2) 区分支給限度額についてどう思われますか？

### 「有った方がよい」

- ・権利を主張しサービスを限りなく要望される利用者も有るので、区切りとして必要と思います。
- ・利用者にとって、サービス利用量の目安になると思います。
- ・サービスの使い過ぎを防止でき、自立支援に繋がれると思います。

### 「無くてもよい」

- ・全員が限度額一杯を利用する訳ではないので、定める必要は無いと感じています。
- ・サービス利用の必要があっても制限せざるを得ないケースも有るので、在宅支援に支障を感じています。

### 「こうあって欲しいと思う事」

- ・必要なサービスが提供できるよう、ケースによっては限度額を超えた補助が受けられる仕組みが欲しいと思います。
- ・自費が発生しやすい介護度2・3の限度額を増やして欲しいと思います。

## (3) 自ら作成したプランをどのように評価していますか？

- ・モニタリングでサービスが予定通り利用されていると安心しますが、自分が作成したプランはたいしたことがないと感じています。
- ・モニタリングや担当者会議などで、本人・家族・参加者の顔つきなどでプランの評価や理解度がわかるので、注意して観察しています。
- ・サービスを利用するためのケアプランを作成するのではなく、本人・家族の気持ちを表せる内容のプランにできればと頑張っているのですが、まだまだです。
- ・第三者に評価してもらいたいです。
- ・週1回の事業所内の会議の中でプランについて助言をもらうなどして、自分のプランを評価しています。

#### (4) 主治医との連携はどうですか？

- ・相談票にて連携を図っています。
- ・病院勤務の先生であればMSWに相談し情報提供をさせていただいています。また、開業医の先生であれば、外来へ伺いお会いすることもありますし、電話でお話してくれる先生もいます。
- ・近年、各地域で医師会との勉強会などの開催で交流をしているところが増えていきます。ますますケアマネへのご理解をしていただけるように医師会への働きかけをして欲しいです。

#### (5) 地域包括ケアについて思う事

- ・地域格差があり、地域の実情に合わせたそれぞれの取り組みが重要だと思います。行政が果たすべき役割はかなり大きく、どのように担うのか期待したいです。
- ・今後の在宅ケアのあり方に関係してくるような思います。とくに自助、互助という面では利用者や家族、介護者への意識づけが必要です。加えて共助、公助の役割として情報発信や知恵の提供があると思います。今後ますます生活の質が問われるのではないかと思います。
- ・地域支援事業のあり方が変わってくるので情報を早く得たいです。地域格差が心配です。

#### (6) 支部活動についてどう思いますか？

- ・行政と連携し働きやすい環境を整えてくれています。
- ・研修会等いろいろ企画され頑張っていると思います。
- ・独自性のある行事や研修が地域で実施されることは有意義だと思います。
- ・会員を増やして支部や県協会を盛り上げていきたいです。
- ・研修内容が興味深く積極的に参加しています。
- ・支部が縮小傾向にあり、支部に関係なく参加できる研修会を増やして欲しいです。
- ・一人ケアマネのため支部活動に参加できるのはありがたいです。
- ・参加しやすいよう研修日程の検討をお願いします。
- ・本部との関わりを持ち、研修内容をある程度統一して欲しいです。
- ・もう少し変化のある研修を企画してもらえたらいいと思います。

#### (7) 悩みは誰に相談していますか。相談窓口はありますか。

- ・同僚や上司に相談や、法人内で情報交換や悩み相談をしています。
- ・他事業所のケアマネや地域包括支援センターに相談をしています。
- ・ケアマネの仲間や理解者、職場以外の同業者に相談しています。
- ・所属支部で悩み相談ができる活動を企画しており、開催時は有意義な時間をもてています。
- ・同級生の同業者に相談しています。
- ・インターネットで相談しています。

#### (8) 無理な要望があったときにどうしていますか？

- ・1度持ち帰ってから回答することにしていきます。日頃から家族・利用者等と支援者として、距離感や関係性のバランスに注意しています。
- ・利用者や家族の話をしっかり聞き、できることとできないことを説明して理解させていただいています。
- ・自分だけで判断しないで、事業所内で（上司・同僚）相談してから回答するようにしています。
- ・利用者や家族の話をよく聞き、対応が難しいことである場合は、代替え案等を提案します。今後多くの方が必要だと判断した時は役所等に相談しています。
- ・制度の説明・インフォーマルサービスの紹介等しています。

#### (9) ケアマネジャーを続けていて良かったことを教えて下さい。

##### [出会い]

- ・利用者やご家族、同僚や、他事業所の方、他のケアマネジャーとの出会いがありました。
- ・広いつながりがもてました。

- ・様々な刺激を受けることができました。
- ・人の生活や家族、その方の歴史に接することができました。
- ・たくさんの仲間ができました。
- ・たくさんの経験ができました。

#### [よろこび]

- ・多くの人の生活や人生に良い意味で影響を与られました。
- ・自己の人間としての成長がありました。
- ・人生が豊かになりました。
- ・利用者の笑顔や感謝の言葉を聞かれたとき喜びを感じました。
- ・自分自身の振り返りができました。
- ・利用者がサービスを利用して元気になってくれました。

#### (10) ストレス発散方法はありますか？

- ・子供と過ごしています。
- ・山登り・神社・仏閣めぐり、小旅行に行き美味しいものを食べています。
- ・読書や映画・海外ドラマ鑑賞・ゲームにて現実逃避しています。
- ・温泉・脳トレクイズに挑戦、お酒、暴飲暴食をしています。
- ・友人との会話を楽しんでいます。 ON・OFFを区別しています。

#### (11) 広報誌ケアマネ群馬・ホームページ・facebookについてのご意見ご要望をお聞かせください。

##### [広報誌ケアマネ群馬]

- ・発行月を楽しみにしています。
- ・地域で活動しているケアマネの情報や記事が楽しみです。
- ・地域における研修会報告が大変参考になります。
- ・特集記事や連載記事などケアマネにとって有益な情報が欲しいです。

##### [ホームページ]

- ・可能であれば更新頻度を増やして欲しいです。
- ・支部で行われた企画の紹介や動画での発信をして欲しいです。
- ・ケアマネにとって有益な情報が欲しいです。

#### (12) ケアマネ協会に対してのご要望ご意見

##### 研修関係に対しては

- ・介護保険制度の変化の情報は早め提供してほしいです。
- ・研修を多くし交流の機会や学習の機会を増やしてほしいです。

##### 協会員の加入に対して

- ・他の職能団体は、強制加入が多いが、必要ならば強制加入の形でいいのではないかと思います。
- ・会員の加入だけでなく離職者対策も必要ではないかと思います。
- ・基礎資格によって考え方や立ち位置の違いなどもありなかなか一枚岩にならないような感じがします。
- ・協会のPR活動を積極的にしてほしいです。

##### その他

- ・一人ケアマネに対する行政の風当たりが強かったので助ける場所になってもらいたいです。

#### (13) 日本協会に対するご要望・ご意見

- ・新しく就任された鷲見会長の評判はとても良いので再加盟しようかと悩んでいます。
- ・ケアマネの職能団体は加盟率が低く、自分たちで自分たちの立場や役割や地位を高められていないことや、行政や国政への発言力などが弱いので自分を含めて変わらなければと感じています。
- ・各支部の情報を吸い取り、きちんと国へ物を言ってもらいたいです。

# 「理事会・各委員会の報告」

## 理事会

会長 折茂 賢一郎

4月16日に今年度最初の理事会が開催されました。主な議題は6月14日に予定している総会に提出する案件（25年度事業報告書と決算見込み、26年度の事業計画と予算案）でしたが、詳細については5月30日の第2回理事会までに詰めて再討議ということになりました。その他には7月13日に迫ったフォーラム準備の進捗状況や地域医療再生基金事業の案件などが討議されました。法人化してから議論する案件も増えた感があり、県行政関連の各種委員推薦の要望なども増えてきております。理事会として速やかな対応ができるように今後も議論を深めていきたいと思っています。

## 総務財政委員会

総務財政委員長 松沢 斉

4月5月といえば各支部とも総会の時期ですね。介護報酬改定を来年に控え、事業計画にもそうした情報の収集を盛り込んでいることと思います。いろいろな期待をもって新規入会してくださった方々の期待に応えられるよう頑張ってください。総務財政委員会はこの時期、総会準備をしています。なんといつでも一般社団法人になって初めての決算総会です。少しでも好転した決算、初めての「納税」を明記した予算、地域医療再生基金特別事業を盛り込んだ事業計画と合わせて、是非ご出席いただいた上で説明をお聞きになっていただければ幸いです。

## 学術研修委員会

学術研修委員長 安藤 繁

いよいよ始まる、「ケアマネジメント群馬フォーラム」、「ケアマネ受験対策講座」、「ぐんまBPSD対応地域研修（支部長さん経由で案内と募集）」に向けて、相も変わらず各委員は大忙しです。でも、会員や県民の役に立つ活動をするのが当委員会の役割と考えています。

## 広報情報委員会

広報情報委員長 藤田 東洋子

平成26年度第1回広報情報委員会を開催しました。会報85号の号の反省会を行い、86号の検討を行いました。アンケートの結果がまとまりましたので、皆様にお返しすることになりました。貴重な意見ありがとうございました。また要望等に関しては今後、少しずつでも答えられるように県協会としても活動していきたいと思っています。

今回、当協会が厚生労働大臣から東日本大震災における被災者支援活動に対する感謝状を頂きました。フェイスブックに掲載してあります。ぜひご覧ください。

## 伊勢崎支部

4月19日(土)、平成26年度伊勢崎佐波ケアマネジャーの会、第14回定期総会ならびに研修会が開催されました。

<定期総会>

- ① 平成25年度事業報告・決算報告について……………承認
- ② 平成26年度事業計画・平成26年度予算について……………承認
- ③ 役員改選について(任期 平成26年4月から2年間)……………承認

<研修会>

3/15に開催された研修会「ICFとアセスメントの視点」(会報85号掲載)に続く2回目として「ケアプランを通しての事例検討」が行われました。

私は事例提供者として参加させていただき、住宅型有料老人ホーム内で生活する利用者の事例紹介をいたしました。これは、法令を順守し住宅型有料施設等と上手に付き合いながら在宅支援ができるケアマネジメントの研究をするために挙げさせていただきました。事例検討をする中で、進行役の岡田支部長からの助言がとても印象的でした。それは、ケアマネジャーが法令を守ることは勿論のこと、利用者やその家族の利益を守るため施設側にも法令を順守していただけるよう協力要請をする役割があると教えていただきました。

介護保険制度に携わる私たちは高い倫理観と良識をもって日々の業務を行う使命があると改めて確認することができました。  
(ケアサービス鶴谷 竹内宗之祐)



## 渋川圏域支部

5月22日(木) 18:30 ~ 吉岡町文化センター 研修室



総会

- 平成25年度 事業報告
- 平成25年度 収支決算
- 平成26年度 事業計画
- 平成26年度 収支予算 すべて承認される。

定例会

『大規模災害時に際してのネットワーク作り』について

2月の大雪での課題を中心に今後予測される大規模災害にどのような備えが必要であるか。意見交換をした。2月の大雪では、移動が困難になってしまったために一時的に在宅サービスが停止したが、『ご近所力』が大きな支えになったケースが多く見られたという報告が多くあった。ケアマネジメントにおいて、インフォーマルとしての『ご近所力』は意識しているが、ケアマネも『ご近所力』と顔見知りになっておくことが大切と改めて感じた。

今回は、電話が通じたので利用者の情報が得やすかったが、電話がダメになった場合、SNS(道路情報等役に立った。)をどう活用していくのが大切になる。

一気にネットワークを立ち上げるのは様々なニーズがあり難しいので、まず、自分の担当している利用者の方のリスクを整理し、情報を持ち寄ることからスタートさせることになった。

(特別養護老人ホーム清流の郷 村上 忠明)

## 多野藤岡支部

5月30日(金)、藤岡市役所中庁舎で支部総会・研修会が開催されました(会員78出席36委任状24人)。研修は(株)クリニコ(森永乳業グループ病態栄養部門) 関田沙也香氏による「摂食嚥下の仕組み～嚥下調整食～」。

摂食嚥下の仕組みについて学ぶ機会はあるものの、嚥下調整品の特性を知る機会は意外と少ない。施設・病院勤務でない在宅ケアマネでは尚のことでしょう。製品特性の把握が部分的であることも少なくないようです。



また、〈日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013〉が提唱され「食形態を表現する、連携の『共通言語』として」的確な情報提供への活用が期待されるとのこと。

適切なアドバイスや質の高いケアマネジメントを提供するためには、正しい知識と有用なツールを知ることが必要であり、学び続けることが不可欠だということを改めて感じた研修会となりました。

(特別養護老人ホームふじの里 小出 良一)

## 高崎安中支部

5月31日(土)に高崎市総合福祉センターにて、高崎・安中支部定期総会と第一回支部研修が開催されました。

研修会においては「居宅介護支援事業所の効果的な運営について」のテーマのもと、高崎市・福祉部・指導監査課の千明氏よりご講演をいただきました。

講演においては、われわれが普段取り組んでいる居宅介護支援が適切かつ、円滑に利用者に提供される為の留意点や助言を、実地指導や指導監査を行った目線からお聞きすることができました。業務を行う中で、つい、おろそかになってしまう点やケアマネジメントを行ううえで不可欠である点を、講演を通じて再確認することができました。また、質疑応答においては、ケアマネジャーが感じている疑問や不安に関して、丁寧かつユーモアを交えて回答していただくことができました。

日進月歩を続ける介護保険制度ではありますが、ケアマネジャーと行政という、立ち位置が異なる職種であっても、相互に連携しながら、より良い支援に取り組んでいくシステム形成を日々意識して取り組んでいく必要性を、改めて学ぶ機会となりました。

(居宅介護支援センターくろさわ 菅沼 祐二)



# 事務局からのお知らせとお願い

## 会費納入について

平成26年度の会費について、まだお振込がお済みでない会員の方は、お手数ですが下記口座にお振り込みください。本会は会員の皆さまの会費で運営致しております。ご協力の程をどうぞよろしくお願いいたします。

会費振込先

銀行名 ゆうちょ銀行

口座名 一般社団法人 群馬県介護支援専門員協会

口座番号 00540-0-63399

\*\*\* 他金融機関からの振込用口座番号 \*\*\*

〇五九(ゼロゴキュウ)店 (059) 当座 0063399

金額	1	群馬県介護支援専門員協会会費	4,000円
	2	日本介護支援専門員協会&群馬県介護支援専門員協会会費	9,000円

1. 又は2. の金額でお願いいたします。(何れも継続会員年会費の金額です)  
新規入会をご希望の方は本会事務局にお問い合わせください。

## 会員登録に変更のある方へ

住所変更・勤務先変更等のある方は、変更届のご提出をお願いいたします。

ご提出いただけない場合、郵便物等お届けできなくなってしまいます。

変更届につきましては、本会ホームページ《トップページ→事務局から→変更届》より用紙をダウンロードのうえ、必要事項を記入しFAX送信してください。

## 新規入会・退会をご希望の方へ

新規入会をご希望の方、また退会をご希望の方は、本会ホームページ《トップページ→事務局から→入会申込書(正会員)・退会届》より用紙をダウンロードのうえ、必要事項を記入しFAX送信してください。

## 問い合わせ先

群馬県介護支援専門員協会(群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 内)

TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6444

事務担当 伊藤

## 編集 後記

我が家で秋田犬を飼うことになりました。幼犬でまだ室内にいます。以前、訪問先の室内犬にうれションされ、それ以来苦手でした。実母が旅立ち、子供に手がかからなくなり寂しい毎日でしたが愛犬のおかげで忙しくなり癒されているのか寂しい時間が減ったように思います。人の気持ちって変化していくものだとつくづく感じています。ただ、1ヶ月で体重が倍になる成長に不安な毎日です。(T)